

# 業務部速報

No. 9

発行 15. 7. 7

JR東労組 業務部

**申** 地域とともに歩みつづけるJR東日本の旅行業を創造し、働きがいのある店舗運営の実現を求める申し入れ **2回目交渉**  
**その1**

**4項** お客さまに対するサービス品質の低下を招かないために、10月1日のダイナミックパッケージ稼動に伴う店舗の縮小・閉鎖はおこなわないこと。

説明事項

☆今年度の旅行業の全体の収入目標は582億円

オンライン販売は10%、店舗販売は60%～65%、提携店販売は25%～30%を見込んでいる。

確認事項

◎お客さまへのサービス品質低下を招かないようにする。

◎オンラインサービス稼動を契機にした店舗の縮小・閉鎖はおこなわない。**7月稼働後の動向を見極める!!**

◎ダイナミックパッケージ(DP)稼動の状況を見て店舗の運営体制は見極めていく。

◎DP稼動前に旅行業システムの変更点について、関係する社員への周知をおこなう。

**5項** 着地仕入・観光開発業務はJR本体がおこなうこと。また、着地仕入・観光開発業務をおこなう担当者は、びゅうプラザで対面販売した社員を中心に配置すること。

確認事項

◎地域と連携した着地仕入・観光開発についてはJR各支社がおこなう。

◎現在、着地仕入・観光開発を担っている社員の多くは店舗で対面販売を経験した社員がおこなっている。将来的にも変わるものではない。

**6項** 東日本エリアの観光流動を進めるため、着地におけるお客さまへの案内の視点から地元から採用を行い、地域のコンシェルジュを育成すること。

確認事項

◎プロフェッショナル採用者は、地域に密着し地域に根を下ろして活躍する方を採用している。

◎東日本エリアの観光流動を創造するために、着地側の案内は必要である。

**7項** 移管後において、各支社が店舗支援・販売促進を行うシステムを構築すること。

確認事項

◎店舗支援・販売促進についてはJR各支社がおこなう。

◎移管後においても、VTS等と契約を結びこれまでと同様におこなう。

◎DC・重販等の送客目標に社員数は含んでいない。**11ピーターを増やすための目標設定にするべきだ!!**

**8項** 移管後の新販売拠点でのハイカウンターとローカウンターのすみわけをおこなうとともに、指揮命令系統を明示すること。また、備品等の管理方法を明らかにすること。

確認事項

◎新販売拠点の位置づけと駅総体でびゅう商品を販売する体制については変わらない。

◎移管に伴い別会社で運営する場合は、各会社が責任を持って運営をおこなう。

◎備品等については各会社で管理をおこなう。

**9項** 商品のパンフレット・ポスター類の管理は、各会社が責任を持っておこなうこと。また、パンフレットの陳列やポスターの掲出に伴う場所の提供や作業は、JR本体との契約に基づいておこなうこと。

確認事項

◎パンフレット・ポスター類は、各会社において管理をおこなう。

◎駅総体でびゅう商品を販売することから、駅構内にポスター類を掲出する際の場所や作業については契約や各駅でのルールを決めて実施する。

**10項** 新販売拠点におけるハイカウンターとローカウンターの相互運用を中止し、必要な要員をそれぞれに配置すること。なお、現在ハイカウンターとローカウンターの相互運用を行っている箇所を明らかにすること。

確認事項

**相互運用の目的が一致しない!!別途議論を要請!!**

◎ローカウンター移管後には、別会社になるため相互運用はおこなわない。

◎相互運用を実施する場合は、箇所の指定ではなく、ノウハウを持っている社員がいる場合とする。

◎旅行業グリーンスタッフのカウンター要員は、これまで同様に3分の2を限度とする。